

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

マナック株式会社 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市箕沖町92番地

(3) 業種

1699 他に分類されない化学工業製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、平成26(2014)年度から平成28(2016)年度までの3年間とする。

※ 省エネ法第15条関係中長期計画書の計画期間と同じ。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス実排出量総計							
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：年度生産量 (I_{補正} - 負荷補正：千 t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成25年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
エネルギー起源CO ₂	1,007.2	977.0 3.0	908.2 9.8	847.5 16			
非エネルギー起源CO ₂	1.0953	1.0000 9.5	0.7048 36	0.6020 45			
メタン	0.2425	0.3000 -19	0.2881 -19	0.2722 -12			
一酸化二窒素	0.1574	0.2000 -21	0.1864 -18	0.1766 -12			
フロン類							
温室効果ガス総排出量	1,008.7	978.5 3.0	909.4 9.8	848.6 16			
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	394.5	382.8 3.0	364.8 7.5	336.2 15			
原単位量 (千 t)	9.404	10.00	11.109	12.342			
実績に対する自己評価	生産復調での稼働効率向上と省エネ努力により、I _{補正} -原単位は低下。メタンの増加は生産増に伴う排水処理の負荷増で想定内。						

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み（＝省エネ）

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料起因CO ₂ 発生 の削減	・燃料の使用によるCO ₂ 発生 原単位を3%以上改善	・蒸気配管の整備 ・トラップの整備、改善 ・保温断熱強化
2	電気使用によるCO ₂ 発生 の削減	・電気の使用によるCO ₂ 発生 原単位を3%以上改善	・高効率機器への更新 ・省エネ型電気機器への更新 ・インバーター制御への変更 ・圧力空気ロスの防止 ・冷暖房温度の適正管理 ・不要電源OFFの徹底 ・遮熱等による冷熱負荷の軽減
		・購入電力の削減	・太陽光発電設備の導入検討

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	(該当なし)	
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物発生量の削減	発生計画量の3%削減 (各年度)	・溶剤のリサイクル、リユース ・使用水量低減（工程改善） ・両面コピー、電子文書 ・分別、資源化の徹底 ・容器リユースの推進
2	大気排出の抑制	回収率95%以上	・工程密閉化の推進 ・温度管理の徹底 ・冷却能力の向上
3	その他		・工場周辺の清掃活動（月2回） ・工場緑化の推進 ・クールビズ、ウォームビズの推進

※ 環境に配慮した実践的な取組みを継続しています。